

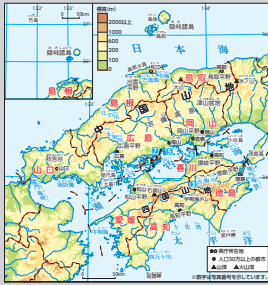
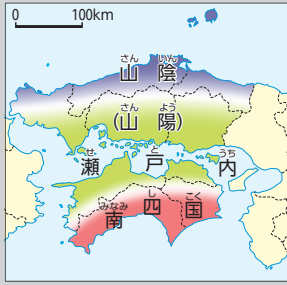
デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.190-191 中国・四国地方の自然環境
2. 目標 (1) 中国・四国地方が三つの地域に分けられる理由について、自然環境の面から考察できる。
(2) 三つの地域の気候の特色について、中国・四国地方の地形の特色から考察し、理解できる。

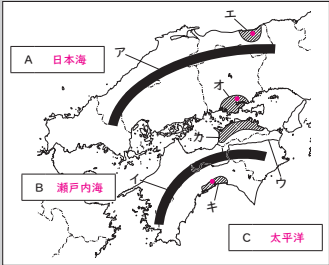
3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・中国・四国地方の気候に影響を与える山地の位置と名称を理解している。
思考・判断・表現	・中国・四国地方の気候の特色を、雨温図で示された都市の位置から考察し、山陰・瀬戸内・南四国に分けて説明している。

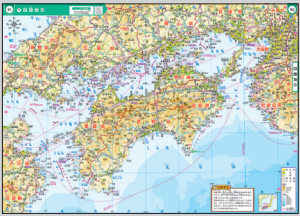
4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
節の見直し	0. 「来島海峡大橋」の写真を題材にし、中国・四国地方の位置や範囲を地図で確認しながら、「節の問い」への見直しを持つ。	 p.188 1 瀬戸内海周辺では、橋が架かったことで、地域の人々の生活や産業がどのように変化したのだろうか。 「節の問い」について、学んでみたいことや、疑問に思ったことを自分の言葉で表してみよう。 解決のために、何が分かればよいか、どのようなことを調べればよいかなど、見直しを立てよう。	○ 「瀬戸内海と来島海峡大橋」の写真を題材にし、橋の開通が人々の生活に与えた影響について考えさせながら、節の学習の見直しを持たせる。 ○ 瀬戸内しまなみ海道は1999年に開通したことを補足する。 ○ 「学習の見直し・振り返りシート」へ記入させ、節の学習の見直しを持たせる。
導入	1. 中国・四国地方の地図を題材にし、本時の課題をつかむ。 2. 中国・四国地方が三つに区分される理由を予想し、学習課題への見直しを持つ。	 p.190 1  p.190 4 ①～③にあてはまる地域の名称を記入してみよう。 中国・四国地方が三つの地域に区分される理由を予想してみよう。	○ 中国・四国地方の地図を題材にし、この地域を三つの地域に区分させながら、本時への導入を図る。 ○ 中国・四国地方が三つの地域に分けられる理由を予想させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見直しを持たせる。
	学習課題：中国・四国地方では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。		

3. 中国・四国地方の
主な地形の名称を調べ、
中国・四国地方が三つ
の地域に分けられる理
由を地形の面から考
える。



中国・四国地方の主な地形の名称を確認してみよう。



地図帳 p.91-92



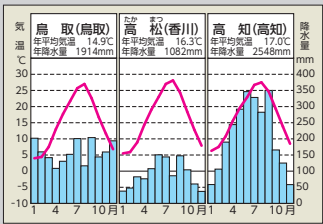
p.190 2

写真が撮影された場所を地図に示してみよう。



p.191 6

写真が撮影された場所を地図に示してみよう。



p.191 8

中国・四国地方の気候は、場所によってどのような特色があるのだろうか。

鳥取	高松	高知
・(❶ 冬)の降水量が多い。 ・3都市の中で年平均気温は最も低い。	・3都市の中では、最も(❷ 降水量)が少ない。 ⇒香川県では水不足に備えて(❸ ため池)が多い。	・(❹ 夏から秋)にかけて、降水量が多い。 ・3都市の中では冬の気候が最も温暖。 ⇒(❺ 黒潮)の影響

6. 本時のまとめをする。

中国・四国地方の気候の特色を、山陰・瀬戸内・南四国に分けて説明しよう。

7. 学習課題への振り返りの活動を行う。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

○ 学習プリントを活用し、中国・四国地方の主な地形の名称を確認させる。
◆ 中国山地と四国山地に着目させ、それぞれの高さや位置について確認させる。

○ 写真が撮影された場所を地図に示させる。
◆ 四国山地や吉野川、鉄道を手がかりに、吉野川の上流であることに気付かせる。

○ 中国・四国地方の平野の特色を考えさせる。
◆ 讃岐平野や岡山平野、高知平野、鳥取平野などが海沿いに点在しているが、中国・四国地方には平野が少ないことに気付かせる。

○ 学習プリントを活用し、雨温図で取り上げられた都市の位置を確認させ、それぞれの都市の気候の特色をまとめさせる。

◆ 雨が少ない瀬戸内では、ため池が古くから整備されてきたことに触れる。

◆ 山陰・瀬戸内・南四国の気候の特色を、季節風と降水量の違いを地形に着目して説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。